



# あま〜

Vol.  
80

2013.11.1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)



【連載】観光まちづくり最前線  
地域を歩くレポート No.2

「貢献・生きがい」と「居心地」を街に求めて  
~これこそがまちづくりの原点では…

【投稿】平成25年度  
景観講演会及びまち歩き

## マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け 地名由来の探求  
めずらしい高山植物がたくさん咲き、  
多くの登山者を魅了する“尾瀬”の由来
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 前橋市からきた真下さん
- マーチィの独り言 丘の上の特等席からまちを見る

## 【まちづくりイベント情報】

県内で行われるイベントの紹介



## 住民主導の景観まちづくりをかたちにする！

写真：草津町の街並み風景



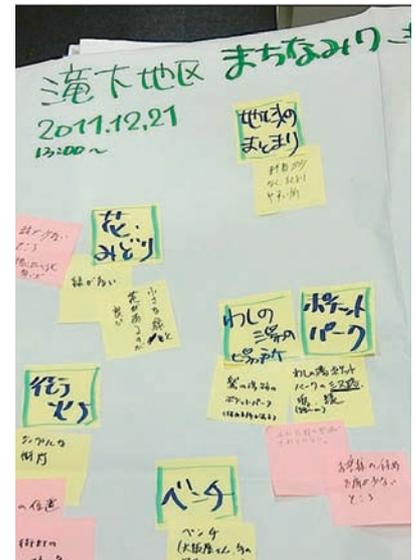
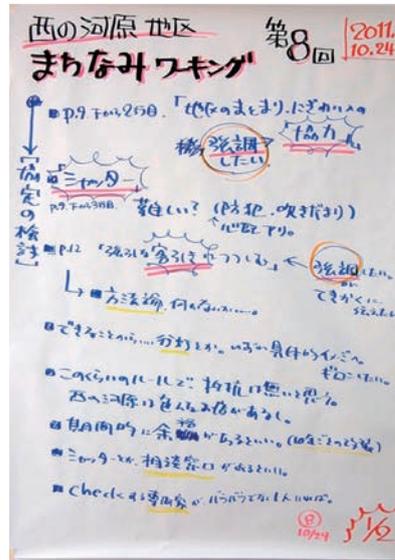


# 住民主導の景観まちづくりを かたちにする！

草津町 企画創造課

草津町は、平成21年12月1日に県内9番目の景観行政団体となり、景観まちづくりの取組みを本格的にスタートさせました。

初年度は、そもそも「景観」って何だろう？なぜ景観対策が必要なんだろう？という町民の疑問に答え、少しでも地域の景観づくりに関心を持っていただくため、住民ヒアリングや、景観に関する勉強会を8回にわたり開催しました。



住民によるブレインストーミング



街なみづくりの約束事について検討

そして、翌年、住民主導による景観のルールづくりを行うべく「街なみ環境整備事業」を導入しました。この事業は、行政の支援を受けながら、住民が主体となって、自然・歴史・文化に配慮した魅力と活力ある街なみづくりを進めるものです。事業実施の条件として、自治体(草津町)による「街なみ環境整備方針」の策定などと併せ、各事業地区の地権者の概ね2/3以上の同意による「景観まちづくり協定」の締結が必要となります。協定ができると、その内容に沿って行われる建物の外観の改修や看板の設置などに対して一定の支援を受けることができます。

平成22年度は、草津のシンボルである「湯畑」を中心とした「湯畑地区」、平成23年度は、観光客がそぞろ歩きを楽しむ「西の河原地区」と「滝下通り地区」、平成24年度は、草津温泉街の玄関口である「中央通り地区」と、草津伝統の湯治法「時間湯」で知られる共同湯「地蔵の湯」を中心とした「地蔵地区」において、地区住民による街なみづくりの約束事についての検討が行われました。





住民による「街なみ観察・まち歩き」

検討にあたっては、まち歩き(踏査)、草津温泉街の街なみの歴史の勉強、全地区住民への景観アンケート調査、他地域の事例分析などを通して、地区ごとの街なみのあり方についての議論が重ねられ、最終的に、5地区全ての協定が締結されました。

今年度は、この住民主導でまとめられた協定の内容を地域の景観のルールとして法的に担保し将来へ引継ぐため、町が中心となり、景観法に基づく景観計画や景観条例の検討を進めています。まさに、町民の景観まちづくりに対する「想い」を行政が「かたち」にする作業です。

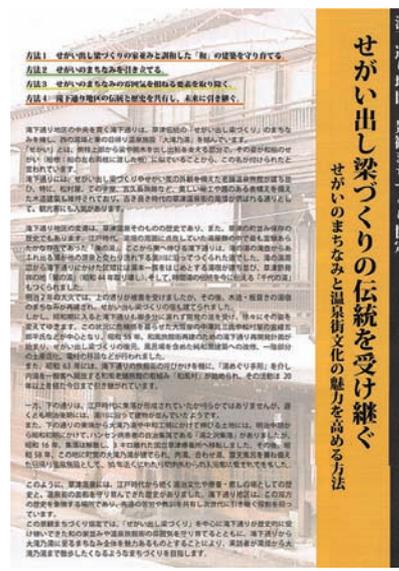
「温泉街の景観を構成するものの多くは、住宅、店舗、宿泊施設などを中心とした民有地だから、景観のルールづくりは町民主導で行わなければ意味がない。」

草津町の景観まちづくりの背景には、いつもこの考え方がありました。

草津町が将来にわたり人々に愛される温泉地であり続けるためには、温泉や草津白根の山々をはじめとした自然の恵み、湯治文化、温泉街の街なみの文化などの唯一無二の個性を「意識」して守りながらじわじわと成長していくことが重要です。そのために町がすべきこと、そして、事業者や住民がすべきことについて、これからのまちづくりにおいても創意工夫を重ねていきたいと思ひます。



景観まちづくり協定のパンフレット(西の河原地区)



景観まちづくり協定のパンフレット(滝下通り地区)





# 「貢献・生きがい」と「居心地」を 街に求めて～これこそがまちづくりの原点では…

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

「お気に入り」「居心地がよい」～日常的な会話の中でよくつかう言葉です。わたしたちは、自分の住んでいるまち、働いているまち、学んでいるまちの中に居心地のよい場所をいくつ持っているでしょうか？

これまで日本経済を支えてこられた方々が一線を退きつつある現在、シニア、あるいはヤングシニアの居場所が求められていると思います。学生もその点に関しては同じです。中・高齢者や学生がまちづくりに貢献する～その結果が自分だけの居心地感につながってくるのではないのでしょうか。今回はまちづくりの原点を求めて「貢献・生きがい」と「居心地感」をテーマにレポートしたいと思います。

## ■商店街を元気づける学生カフェ ～Cafeここたの(国立市)

「Cafeここたの」は、くにたち富士見台人間環境キーステーションの活動の一環として一橋大学の学生サークル「Pro-K」が中心となって運営されているカフェです。もともと初めからカフェをやろうと決めていたわけではなく、商店街の活性化を目的とした手段の一つとして、カフェという候補が挙がりました。そのため、地域の人達との交流を心掛けてお店づくりをされてきました。例えば、市民スタッフの方々と一緒にお店を営んだり、メニューの考案をする他、お客さんとして来る地元の人達が楽しめるように、定期的にイベントを開催したり、原材料を近所の商店街から仕入れるといった工夫がされています。

働いている人達は、ニコニコの笑顔でお客さんと接しておられ、とても楽しそうな印象を受けました。地元のお客さんと密着して交流を図っているところやメニュー開発など、参考になることばかりで、刺激をもらうことができました。ケーキや飲み物も手作りで、どれも優しい味わいでした。まさにお店の名前の由来でもある「ここにくると楽しい」を実感!!。学生でもできる、いや学生だからできるまちづくりへの貢献、そして居心地のよい空間づくりに、まちづくりの原点を見ました。



～店内の様子～



ここたのメンバーが所属する大学のゼミで出版した「まちづくりの本」



日替わりメニューが書かれたボードを発見♪  
本日の日替わりは??



レアチーズケーキとアイスミルクティー



常連さんと一緒に。  
ハイっ!チーズっ!

## ■65歳以上の高齢者に働く喜びと元気を ～おばあちゃんの定食屋(豊島区池袋)

池袋にある「おばあちゃんの定食屋」は、旬のものを使った、ヘルシーで愛情あふれる食を通して本来のあるべき日本力を打ち出しているお店です。コンセプトは、①懐かしい家庭の味、②地産地消・旬の食材、③文化の継承、④当日売り切れシステム(売り切れ次第閉店)の4つにあります。





お店では65歳以上のおばあちゃんがスタッフとして働いておられます。定食のメニューは、おばあちゃんが考えていて、愛情あふれる手料理を日替わりで楽しむことができ、この手作りの定食を求めて様々な年齢層のお客さんが来店していました。

店内はとても明るく、おばあちゃんも楽しそうに、元気よく働いておられました。まさに「65歳以上の高齢者に働く喜びと元気を」です～我が国ではシニア層が増加することが予想されていますが、シニアをターゲットとした商品づくりだけを考えるのではなく、シニアがスタッフとして働くこと～地域に貢献することが生きがいにつながっていることを実感しました。



～店内入口の様子～



一部の定食メニュー



ここで働かれている  
おばあちゃんの紹介!!

## ■「貢献・生きがい」と「居心地」を街に求めて～

私たちが学んでいる八王子キャンパスは多摩ニュータウンの一部にあります。高度成長の時代は「夢の団地」との憧れがあったようですが、現在は高齢者の一人暮らしが増加しています。

一人で住んでいると用事がない限り外に出る機会がなかったり、友人と食事に行く際も適したお店がないといったことが現状かと思えます。“街のなかに「居場所」をつくる”“学生とシニアの接点を考える”をテーマに「(仮称)ハーモニーカフェ」を企画・実践しようとしています。研究と同時並行的に「ヒガシナカノ1742(まちづくりラボ・サルベージ運営)」のお店の理解と協力をいただき、様々な実験的な取り組みもさせていただいています。

「ヒガシナカノ1742」の基本コンセプトは、食や地域の問題をきっかけに、だれもが気軽につながることができることを目指すもの。全国の市町村+特別区(2013年1月現在)の数・1742を店名にもつけたのは、日本全国のレアなローカルフードを見て、食べてみてほしい、またそれが地域を知るきっかけや話のネタになればいいなという思いを込めたからだそうです。

店内は白を基調としていてカウンターには珍しいお酒がたくさん並んでいます。スタッフは全員飲食店未経験者とは思えないほどフレンドリーな方々です。チェーン店のようにマニュアルを作ることはせず、臨機応変にお客様のニーズに応えるようにしているところは私たちも見習いたい。街の中には「居心地」と「貢献・生きがい」につながる拠点づくりが必要!!～今回の取材を通じて強く感じました。(文責：光田実央・瀬下絢加)



店舗内観



名物のみなかみダムカレー



学内新聞に載りました!

※以下のHPもご覧下さい～!!

「Cafeここのた」：<http://human-environment.com/104/about>

「おばあちゃんの定食屋」：<http://oba65.com/about>

「ヒガシナカノ1742」：<http://tabelog.com/tokyo/A1319/A131901/13155136/>





# 平成25年度

## 景観講演会及びまち歩き

群馬県都市計画課 景観・都市行政係

群馬県都市計画協会と群馬県の共催による景観講演会が平成25年10月1日(火)、高崎市総合保健センター(2階第1会議室)で開催されました。

東京大学生物資源環境センター教授の堀繁先生を迎え、「景観からまちの賑わいを考える」をテーマに講演をいただきました。

堀先生は、景観デザイン、景観工学等を専門にされ、山形県の「あつみ温泉」や「銀山温泉」、南会津の道の駅「しもごうエマツト」など、多数のまちづくり、空間整備の設計・指導といった実務のほか、全国各地で景観に関する講演をなさっています。

講演会では、100名超の参加者に対して、堀教授は、景観とは何か、初歩の初歩から説き起こし、まちの賑わいにとって如何に景観が重要で密接に関係しているか、豊富な実例を写真で示しながら、わかりやすく解説してくださいました。また、2枚の写真のどちらの景観が良いか、参加者に手を挙げてもらうなど、参加者と一体感のある講演となりました。

講演会終了後には、高崎市職員を中心とした行政職員と堀教授とで、まち歩きに出掛けました。まちの景観は、道、街路と沿道の建物の2つで構成されています。その構成比は道：沿道＝6：4と、人間が一番近い道が評価に大きく影響します。そのため、景観において行政職員が担う責任は大きいこと。また、道路舗装や道の形状、人間をもてなす道の作り方についても教えていただきました。また、まちの賑わいの創出には「ベンチ」「花の鉢」「手書きのイーゼル看板」などのホスピタリティ表現が大切であることを学びました。

「景観とは、人が見ること。」景観について考えるとき大切なのは、主体が人であること、人がどう感じるかであって、私たちは気づかず見逃していることがたくさんありました。「まちなかのオープンカフェで食事を楽しむ人が、まちになぜ必要なのか。人は楽しそうにしている人を見て楽しいと感じる。賑わいづくりには、まちにサクラとなる人が集まる場所が大切である。」など、言われてみれば確かにそうだなと納得させられるものばかりでした。

高崎での開催に続き、10月22日(火)13時から下仁田町役場(2階201大会議室)で景観講演会を開催しました。

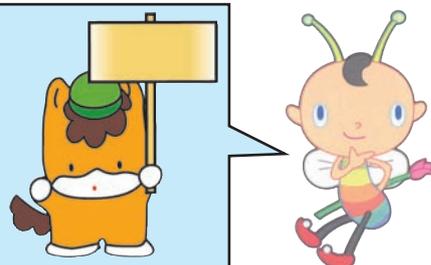
「景観を使った元気なまちづくり」をテーマに、高崎とはちがった切り口で、景観とまちづくりについて、堀教授が懇切丁寧に解説してくださいました。



### 第三弾：館林市で景観講演会を開催します

11月25日(月)に館林市で景観講演会を開催する予定です。

講演会のテーマは現在調整中です。近日中に皆さんにご案内できますので、ふるってご参加ください。





# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け！

### ●群馬地名由来の探求●



ねえ、マーチィ。めずらしい高山植物がたくさん咲き、多くの登山者を魅了する“尾瀬”について教えてクリ！



まち's クリ

【編集長の一枚】  
逆さ燧ヶ岳  
(H25.10月撮影)



マーチィ



至仏山頂付近から臨む尾瀬ヶ原と燧ヶ岳 (H25.8月撮影)



尾瀬ヶ原から臨む至仏山 (H25.10月撮影)

尾瀬とは、群馬県・福島県・新潟県の3県にまたがる2,000m級の山々に囲まれた盆地のことなんだよ。国立公園に指定されていて、本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原に尾瀬沼、日本百名山である至仏山や燧ヶ岳と、貴重な自然がたくさん残っているため、日本百景にも選ばれているんだ。昔は、尾瀬沼のことをワセヌマ(早稲沼)と呼んでいたんだ。ワ・セとは、「浅瀬を蛇行して流れる川」という意味で、この「ワセ」が「オゼ」となり、文字が“尾瀬”に統一されたんだよ。尾瀬という名前は、曲がりくねった川や沢がたくさんある尾瀬ヶ原をもとにし、地域一帯を表す地名になったんだよ。

参考資料：「わたしたちの地名ぐんま」(社)群馬県子ども会育成団体連絡協議会発行

## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

佐藤 光将



佐藤光将さん(一番左)



講座風景

私が「ファシリテーター」という言葉を知ったのは一緒に伊勢崎市の景観サポーターをしている父がパートナーネットワーク講座を受講したのがきっかけでした。その話を聞いているうちにファシリテーターに興味を湧き、それならばと私も24年度の講座に参加させて頂きました。

講座はまさに聞くとやるとでは大違い、入門編で大下先生の講義を受けている時はファシリテーターが何をやるのかどのような立場なのか理解したつもりになっていたのですが、ワークショップでいざ自分の番になると何をどう進めたら良いのか分からなくなり水先案内人としての役割を見失ってしまいました。

しかし同時にファシリテーターの進行次第で話し合いを上手く進め多くの人の意見に答える事ができると言う事を実感しました。その後発展編、応用編と参加者の方々とワークショップを重ねて行くと様々な人の目線に立って考えると言う事が出来るようになり、目標とする落とし所も見えてくるようになりました。

また、応用編では私の住んでいる伊勢崎市を舞台に「まち歩き」が行われ普段見慣れた風景を改めて新鮮な気持ちで見ることができました。大下先生を始め事務局の皆様、一緒に講座を受けた方々には大変お世話になりました。おかげさまで無事、「群馬県まちづくりファシリテーター」の認定を頂く事が出来ました。有難うございました。今後この経験を多くの場面で活かしていければと思います。

## マーチィの掲示板

### 『前橋市からきた真下さん』



今年の4月より人事交流職員として前橋市から派遣され、群馬県都市計画課都市計画係に配属されました真下と申します。

都市計画決定に関する業務に携わっており、配属から早いもので半年が経過しました。前橋市でも都市計画決定に関する業務に携わっていましたが、県ではより広域的な観点から都市計画を検討するため、群馬県全体のあるべき都市像を考えるようになり、視野が広がったように思います。人口減少、超高齢化社会の中で、群馬県民が暮らしやすい持続可能なまちとなるよう、都市計画行政職員として努力していきたいと思っています。

## マーチィの独り言



趣味は温泉巡りで、群馬県内はもちろん、様々な地域の温泉に行っています。先日は山梨県西八代郡市川三郷町の「みたまの湯」に行ってきました。昼は甲府盆地の街並み、夜は夜景が眼下に広がり、温泉に浸かりながら楽しめます。まさに、丘の上の特等席。たまには、高い場所からまち全体を見ることも良いなと感じました。

(写真：ホームページより)

編集担当 新木



## 第2回 わたらせ Young Movement

都会の若者と地元の若者が地域の活性化や交流の促進を図るための交流イベント。

- 11月9日(土)  
10:00~16:00(予定)
- 桐生市黒保根町保健センター  
【お問い合わせ先】  
桐生市役所観光交流課交流促進係  
Tel. 0277-46-1111  
(内線367)



## 下町夜市

下町通り商店街で、まちなかの活性化や事業者の育成を目的に行われている「下町夜市」。会場では、さまざまな料理やイベントを楽しむことができます。ぜひお越しください。

- 11月16日(土)、  
12月21日(土)、  
1月18日(土)  
18:00~21:00
- 館林市下町通り商店街  
【お問い合わせ先】  
下町通り商店街振興組合  
Tel. 0276-73-6230



## スマイルフェスとみおか2013

まちを元気にする市民が考えたアイデアをカタチにし、市民や観光客に体験してもらう「社会実験」プログラムです。

- 11月17日(日)  
10:00~16:00
- 富岡市中心市街地  
富岡製糸場に隣接する市街地  
【お問い合わせ先】  
富岡市まちづくり課  
(スマとみ事務局)  
Tel. 0274-62-5439  
HP: <http://smiletomika.jimdo.com/>



## 防災に関する講演会

群馬大学 理工学研究院 准教授・金井 昌信氏による防災に関する講演会を開催します。

- 平成26年1月11日(土)  
13:30 開演予定
- 有鄰館 (桐生市本町二丁目)  
【お問い合わせ先】  
桐生市役所  
重伝建まちづくり課  
重伝建係  
Tel. 0277-46-1111  
(内線346)



## 旧三国街道「新田宿復活祭」

江戸と越後を結ぶ三国街道の宿場町として栄えた中山新田宿は、本村の重要な景観資源として位置づけられています。旧三国街道「新田宿復活祭」は、街づくりの一環として住民参画のもと開催されます。信州真田鉄砲隊砲術演武、新田本陣等のガイド、和太鼓演奏、農産物品評会等を予定※和服来場者には得典あり

- 11月10日(日)  
10:30~15:00
- 旧三国街道新田宿  
(国道145号線新田交差点北)  
【お問い合わせ先】  
事務局 高山村役場 地域振興課・農政課  
Tel. 0279-63-2111



## スマイルフェスとみおか2013前夜祭 酔いどれウォーク ~開けてみないか その扉を~

まちづくり人づくりワークショップにて決定したプログラムで、店頭に「お品書き」無く、入りづらい隠れた名店をツアーでご案内します。

- 11月16日(土)  
18:00~21:00
- 事前申し込み  
(定員になり次第締め切ります)
- 市内飲食店街  
【お問い合わせ先】  
富岡市まちづくり課(スマとみ事務局)  
Tel. 0274-62-5439



## わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

公共交通を活かしたまちづくりの一環として、飾り付けボランティアを募集し、市民の方々と一緒にわたらせ渓谷鐵道の駅にイルミネーションを飾り付けます。情緒豊かな駅とイルミネーションを楽しむことができます。

- 平成25年12月1日(日)~  
平成26年2月28日(金)  
17:00~各駅最終通過まで
- わたらせ渓谷鐵道各駅  
【お問い合わせ先】  
事務局 水沼温泉センター  
Tel. 0277-96-2500



## 思いやりの伝わるまちづくりをめざします

私たちTEEPは、公共事業コンサルタントとしての十分な経験と専門的能力を備えた人材が集う組織で、まちづくりのノウハウに関する市民一人ひとりのレベルアップに貢献し、行政と対等で前向きな連携をサポートしていきます。

代表 齊田 典之 技術士:建設部門(都市計画)  
事務局 〒370-0002 高崎市日高町580 (株)高崎測量内  
TEL 027-361-2271 Mobile 090-1456-7338 E-mail tk-n\_saida@takasoku.co.jp

特定非営利活動法人  
Town Ecology Elicits Profines

## あなたの「まち」をサポートする まちづくり診療所

- ◎ 地域が目指す将来の姿に“化ける”ための取組み
- ◎ その地域ならではの持続可能なまちづくりの手法を追求
- ◎ 新しい「次世代の価値」「生きがいづくり」の提案

まちづくりラボ・サルベージ株式会社  
〒168-0073 東京都杉並区高井戸1-39-13 グランフォレスト605  
Tel.03 6379 8737 Fax.03 6379 8731 Salvage

## 帝京大学 観光経営学科

学際的教養、豊かな国際感覚、  
確かな専門知識をあわせ持った  
人材を育成します。

八王子キャンパス 2013年  
オープンキャンパス 11/30(土)  
10:00~16:00(受付時間15:30まで)  
・大学説明会/入試説明会  
・入試対策講座(国語・英語)  
・学生によるキャンパスツアー、フリートーク  
・予約不要、入退場自由

- ◎ 観光産業を経済学 経営学の流れの中で学ぶ。
- ◎ 「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けての万全のフォロー体制。
- ◎ 実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

お問い合わせ先 TEL : 0120-508-739

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359  
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

### 【お問い合わせ先】

群馬県国土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>